



たかずやの里通信

令和2年度 -第3号-

・・・発行日・・・

令和3年 1月1日

・・・発行人・・・

児童養護施設 たかずやの里

伊那市東春近7000-8

TEL 0265-72-6456

FAX 0265-72-7607

ホームページ QRコード→

URL www.janis.or.jp/users/takazuya03/



お雑煮

お正月料理にお雑煮がある。私が味わってきたお雑煮には鮭や野菜が具沢山に使われていた。私の祖母は新潟県出身で年末になると祖母の実家から鮭が送られてきた思い出がある。長野県内ではブリを使うと初めて知ったときは「え、そうなの？」と、ちょっとした驚きだった。

年末年始にたかずやの里で過ごす子どもたちは20名前後いる。その子どもたちに地元のお正月文化を伝えるのは、施設の大切な役割だと思う。お雑煮の作り方もネット検索をすればたくさん出てくるが、地元の味ではない。今の子どもたちが将来の子どもたちを育てる大人になっていくことを思うと地元の食文化を子どもたちの記憶に残す機会をできるだけ多く設けていきたい。…と思いつつ我が家のお雑煮には毎年、鮭が入っている。

施設長 菅 雄峰

なつかしのポン菓子

10月18日のふれあいまつりの代替行事では、外で古米を使って『ポン菓子』を作りました。ドン！というすごい音と共にたくさんポン菓子が出てきて、溶かした砂糖で味付けします。子どもたちは初めて食べる子が多く、食べてみてその美味しさに感激しながら味わっていました。



ふれあいまつりの代替行事を行いました

今年新型コロナウイルス流行のため、たかずやの里の一大イベント「ふれあいまつり」が中止となり、子ども達から要望で代替行事を行いました。子ども達に希望を募り、クイズ大会（別名『クイズでポン』）をしました。夕食の焼肉のお肉を賞品にしたユニット対抗クイズ大会です。ユニットごと出された指令をもとにクイズの用紙を探し、解答。時間制限のある中でポイントのため、上位のユニットから美味しいお肉をゲット。どのユニットも楽しみながら真剣に問題を解いていました。途中、アイスのかじ引きや、大きな爆発音に驚きながら美味しいポン菓子を食べました。子どもも大人もみんなが笑顔と笑いに溢れたひととき。夕食は美味しいお肉と、たかずやのみんなで収穫できた新米に舌鼓を打った日でした。

来年は例年どおり地域の皆さまと「ふれあいまつり」が開催できることを願っています。



みんなでクイズの解答を考えています

Q7
ジェームス君の家は12階建てのマンションの11階です。ジェームス君はいつも家に帰る時7階で降りて、あとは階段を使って11階の部屋まで行きます。なんとでしよう？



ポン菓子製造機



最後はジャンケン決戦

ボランティア紹介

- 学習ボランティア -

子どもたちの多くは、学習環境に恵まれなかったり、学校に行けない時期があったりなど様々な事情を抱えてたかずやの里に来ます。そうした子どもたちの学習の手助けに学習ボランティアの方々が活躍してくれています。未就学児には絵本の読み聞かせを、就学間近の幼児には鉛筆の持ち方や名前の書き方など、小中学生には教科学習の支援などです。こうした学びの場があると、子どもたちは大きく伸びていきます。子どもたちには無限の可能性があります。その可能性を伸ばすしてくれるボランティアの方々に感謝しています。



↑中学生はマンツーマンで学習をみていただくこともあります。

たかずやの里の子どもたちの様子

お米もみんなで脱穀をしました



小学生女子の着ぐるみブームは続きます！



中学生女子手作りのお弁当



男子はイモリを捕まえて大喜び



みんなで焼肉おいしいな〜♪



コスモスユニットで飼っているフナたち



たんぼぼユニットの旅行の様子



たんぼぼユニットでは10月に『池の平ファミリーランド』に行ってきました。子どもたちの中には大型バスを初めて見る子どももいて、その大きさにびっくり！午前は遊園地で思いきり遊び、午後は『わくわく動物王国』で動物との触れ合いを楽しみました。普段見ることがない動物に子どもたちは大興奮。実際に動物に触れてみたり餌やりをしたりなど貴重な体験ができました。今でも写真を見て「ファミリーランド楽しかったね」と思い出話に花を咲かせる子どもたちです。